

伸びゆく力

～ めざす教師像 ～

- *子どもとともに学び、子どもの心に寄り添う教師
- *学校視野をもち、組織で取り組む教師
- *地域へ貢献する教師

子どもの自己肯定感や自己有用感を育てる

学校では、毎日、子ども達のさまざまな姿を見かけます。素敵な姿に出会った時は、「ありがとう!」「うれしいね」と声をかけます。

しかし、もう1つ大切にしている言葉があります。次のような例です。

「毎日、お花に水をあげているね」「いつも元気よく挨拶するね」

「発表している人の方を向いて聞いているね」「隅々まで掃除をしているね」

「下足箱の靴をそろえてくれているね」「給食当番の仕事をてきぱきとするね」……など

つまり、子ども達の何気ない日常の姿に声をかけることです。見ているまを伝えているだけです。そこには「いいね」や「だめだよ」という評価はありません。「あなたを見ているよ」という承認のメッセージを伝えるだけです。成果に関わらず、事実を肯定的に見て心に受けとめ、認めて伝えることで、子ども達は安心感と自信をもちます。

同じような場面は、家庭の中にもあります。茶碗洗いや風呂そうじといった手伝いの場面です。一言メッセージを伝えるだけで、家族に認められていることを実感し、安心感を深め、コミュニケーションを増やしていきます。

家庭・学校を問わず、子育ての目標はその子に応じた自立を実現することです。しかし、近年、若者の自立が遅れていると言われます。その背景には、子どもに自己責任の考え方が身についていないことがあげられます。家事の一部を任せることで、責任感や自立心を育みます。認められているという安心感に支えられることで、「自分が必要とされている」「家族の一員として役立っている」という実感を得て、自分への自信をもつことにつながっていきます。

今、子育てが難しい時代だと言われます。その原因が少子化や社会現象にあると指摘されますが、本当は、大人と子どもとのかかわりが重要ではないでしょうか。学校では、自己肯定感や自己有用感を育てるため、互いに認め合い、支え合う集団づくりに努めています。

(長富良子)



～ 自転車安全教室 ～

6月19日(火)・27日(水)



4年生を対象に自転車安全教室を実施しました。

6月19日には、防府警察署の交通総務係長の犬村秀一様から自転車の点検や安全な乗り方、道路の走行のルールについて、講話とDVD視聴で学びました。

27日には、防府交通安全協会および同佐波分会の皆様が児童一人ひとりに安全確認、安定した運転についてご指導いただきました。グラウンドの練習コースで実際に運転する姿はぎこちない場面も多かったのですが、保護者の皆様にも再度、お子様の自転車運転技術についてご確認をいただければ助かります。

最近、自転車に乗った小学生が高齢者に負傷を負わせる事故の例もあります。お子様の自転車の利用の際には交通ルールやマナーについて注意喚起をお願いします。





幼稚園・保育園との連携 ～ 幼保小連絡会 ～

6月21日、佐波幼稚園・西佐波保育園・宮市保育所・暁の星幼稚園の先生方が来校されました。1年生の授業を見学後、一緒に給食を食べられました。昼休みには、児童が旧担任の先生と楽しく会話していました。

連絡会では、幼稚園や保育園の先生から、成長の姿に感動したという感想をいただきました。



児童による携帯電話やスマホ等の利用について

インターネットに接続可能な情報通信機器として、携帯電話、タブレット端末、スマートフォン、パソコン、ゲーム機、音楽プレーヤー等があります。近年、これらに関するトラブルが発生しています。防府市内の学校では次のように指導しています。ご家庭でのルールを決め、お子様へのご指導をお願いします。

1 情報モラルを守る。

〔例〕人の悪口やうわさ、不適切な画像や動画、個人情報を読さない。

ネット上の仲間はずしをしない。

2 歩行中や自転車の運転中は、絶対に使用しない。

3 学校へは持ち込まない。

4 午後9時以降は使用しない。(保護者へ預ける)



佐波小ニュース



田んぼの学校・田植えの体験

6月20日(水)・22日(金)

5年生が子ども農業体験学習推進事業の活動として、日本の稲作について学習しました。

毎年、防府土地改良区(防府水土里ネット)

の皆様による講話を聞いています。「米」という漢字の由来は、作業過程や苦労が八十八あるということからきていることを聞いて、児童が「なるほど」と頷いていました。水田の役割、稲の種類や生育過程、栽培方法、苗の植え方について教えていただきました。体育館で事前に練習していたので、本番では順調に植えることができました。とはいえ、最初にぬかるんだ水田に入った時は興奮していました。

また、田植機の実演を見て、作業の速さに圧倒されていました。秋の収穫が楽しみです。



なかよし班による読み聞かせ

6月27日(水)

なかよし班(特設の縦割り班)で初めての「本の読み聞かせ」がありました。

6年生の児童が班員へ向けて、絵本を読む活動です。6年生は上手に絵本を読むために何度も練習をして本番に臨みました。

昼休み中に実施したのですが、どのグループも下学年の児童が静かに聞き入っていました。図書ボランティアさんや司書さんによる読み聞かせの際の静かな態度は、1年生の頃からの積み重ねの賜です。豊かな心の育成につながっています。



PTAによる救命法研修 6月29日(金)

PTAによる救急救命法の研修会を実施しました。AEDの使い方や心臓マッサージのやり方を学び、いざという時の心構えができました。体育部の活動として毎年実施しています。

